

事務事業名 吉田グリーンシャワーの森管理事業		所属部 吉田総合センター	所属課 事業管理課	
総合計画体系	政策名 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G 産業振興グループ	課長名 河角郁夫	
	施策名 (35)観光の振興	担当者名 田浪文雄	電話番号 0854-74-0213 (内線) 4415	
	目的 対 象 市外の人 意 図 A)雲南市を訪れてもらう。B)市内で消費してもらう。	予算科目 会計 款 大 事 業 大 事 業 名 0 1 3 5 0 1 項 目 中 事 業 中 事 業 名 0 5 2 0 1 8	観光施設管理事業	
	基本事業名 (105)受け地づくりの推進	グリーンシャワーの森施設管理事業		
目的 対 象 市外の人 意 図 受け入れる。				

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
指定管理業務 施設修繕業務

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	24年度実績(24年度に行った主な活動) 指定管理者協議 施設修繕業務 ・漏水修繕 ・管理棟軒屋根修繕 ・滑り台撤去 ・焼肉ハウス雨樋修繕 ・焼肉ハウス軒先修繕 ・管理棟軒天修繕(修繕) ・管理棟軒天修繕(塗装) 施設工事業務 ・敷地内外灯修繕工事 ・管理棟ガスポンベ庫新設工事	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 指定管理者協議 施設修繕業務				
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 指定管理者協議	回	3	2	3	3
	イ 施設修繕・工事箇所	箇所	5	2	9	10
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	施設利用者(市内外) 指定管理者	ア 雲南市人口	人	41,917	41,159	40,548	40,440
		イ 市外人口	千人	128,015	127,758	127,471	126,213
		ウ 指定管理者	組織	1	1	1	1
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
施設利用者を増加させる。 指定管理料を圧縮する。	ア 施設利用者	人	1,760	1,681	1,858	1,900	
	イ 指定管理料	千円	7,300	7,300	7,350	7,350	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
【委託料】7,493千円 指定管理料:7,350千円 貯水槽清掃業務委託:143千円 【作業員賃金】40千円 【消耗品費】14千円 【修繕費】1,540千円 【工事請負費】1,144千円 【賃借料】281千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	7,833	8,368	10,512
	事業費計 (A)	千円	7,833	8,368	10,512	9,532
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	120	240	150	
	人件費計 (B)	千円	467	946	588	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,300	9,314	11,100	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成24年度において施設利用者が回復した。この理由の一つに、中国横断自動車道尾道松江線が松江から吉田掛合インターチェンジまで開通したことが挙げられる。交通アクセス環境の変化による施設利用者増加が見込まれる。	・指定管理者の切り替え時期に大幅に指定管理料の見直しを行った。 ・土地賃貸借契約を見直した。	中国横断自動車道尾道松江線(松江～三次間)の開通に伴い、市外からの施設利用者も増加するため、宿泊棟を中心に老朽化した施設の改修要望がある。

事務事業名	吉田グリーンシャワーの森管理事業	所属部	吉田総合センター	所属課	事業管理課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																				
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																					
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																					
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																				
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																					
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	平成25年3月に営業開始した「道の駅たたらば壱番地」などと連携し、観光客を吉田町へ呼び込むことで施設利用者も増えていくと考える。また住民と指定管理者、行政が一体となって実施する施設環境改善と魅力ある集客サービスにより、更なる効果が期待できる。																			
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																					
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	吉田町における宿泊場所、観光・自然体験施設として機能している面もあり、観光客や施設利用者の利便性が低下することになる。																		
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																					
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？																					
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		当該施設管理事業なので統廃合できる事業はない。ただし、インターチェンジの活用を含め、町内の観光施設(指定管理者)が連携し、新事業を検討・実施など連携できる可能性はある。																		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		施設利用者の増加により施設利用料が増加することで、指定管理料を圧縮でき、ひいては施設に関する全事業費を削減できると考える。																		
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		指定管理料以外に施設修繕等対応業務を有するため。																		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		市内外に向けた(自然体験・学習・交流施設)であるため公平・公正である。																		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																			
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		施設維持保全を修繕等の実施により対応している。指定管理者においても、軽微な修繕や利用者へのきめ細やかなサービス向上も対応しており、良好な施設管理維持ができています。加えて、中国横断自動車道尾道松江線の効果もあり、施設利用者数は増加してきている。																		
3 今後の方向性【PLAN】																						
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		●																				
維持			×																			
低下		×	×																			
<p>平成25年3月の中国横断自動車道尾道松江線(松江～三次間)の開通を一つの契機に、吉田町内のインターチェンジを活用し、また「道の駅たたらば壱番地」などとの連携により施設利用者の増加を図っていく必要がある。施設利用者が増加することで利用料が増加するので、指定管理料の圧縮や施設全体の事業費削減も可能となる。</p> <p>施設の老朽化に伴う改修についても、利用者の要望に沿いながら、より質の高いサービス提供に資する改修計画等の方向性を検討していく必要がある。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																				